

令和2年1月29日

令和元年度 第3回 学校運営協議会

＜運営協議会委員＞

名 前	職 名
松 宮 新 吾	追手門学院大学教授
河原林 昌 樹	弁護士
藤 本 幸 二	門真市立第五中学校長
鈴 木 貴 雄	門真市立脇田小学校長
峯 松 大 輔	門真市教育委員会
藤 岡 みずほ	門真なみはや高校PTA会長

＜事務局＞

宮 田 幸四郎	教頭	桂 田 光	生徒指導部長
久 森 雅 代	事務長	松 村 尚 之	生徒会指導主担
辻 敏 彦	首席	岡 田 真 美	保健部長
宮 蘭 賢 二	首席	藤 田 和比郎	総務部長
山 田 浩 二	教務部長	黒 田 いつみ	3 学年主任
福 田 拓 矢	進路部長	金 秀 好	2 学年主任
		山 口 周	1 学年主任

＜開催日時＞ 令和2年1月29日 15時15分～16時45分

＜内容＞

○学校長挨拶

○議事

＜審議事項＞

- 1 平成31年度学校経営計画及び学校評価について
 - 2 令和2年度学校経営計画について
 - 3 学校教育自己診断について
 - 4 第2回授業アンケートについて
 - 5 教育活動に係る保護者からの意見について
- その他

＜報告事項＞

- 1 3学期制を実施しての教員アンケートについて
- 2 今年度の教育活動のふりかえりについて
- 3 その他

<審議事項>

○平成 31 年度学校教育計画及び学校評価について

- ・学校教育自己診断の評価基準を肯定値ではなく、「あてはまる」の第一評価としたため、すべてが「○」の評価とはならなかったが、ほとんどの項目で数値目標を達成できたといえる。

意見

- ・授業以外の学習時間が少ないのが引き続きの課題である。
- ・漢字検定受験者数が、昨年度に比べて減少しているのはなぜか？
→今後検証する予定

○令和 2 年度学校経営計画について

- ・「あてはまる」という第一評価が 50 %を超えることを目安と考えている。50 %を大きく割っている項目については、年に 5 ポイント上昇することを目標とする。項目によっては「進路や生き方を考える機会がある」など否定的回答率を減らすことを目標に設定することを考えている。

○学校教育自己診断について

意見

- ・「学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じている」の数値は高い。
- ・「教え方に工夫している先生が多い」の数値が経年変化で上昇している。
- ・「将来の進路や生き方について考える機会がある」の数値が高い。
- ・「何かあれば、相談できる先生がいる」の否定的回答率は減らす必要がある。

○授業アンケートについて

- ・経年変化では緩やかながらも右上がりとなっている。「予習、復習をしている」という数値は他の項目に比べ低い。

意見

- ・生徒が、予習や復習の必要性を理解していない、予習など自主学習のやり方を知らないのではないか？
- ・学びの可視化が必要。予習ノートを評価していくなど。

<報告事項>

○3 学期制を実施しての教員アンケートについて

- ・2 学期制から 3 学期制に変更するにあたって、あらかじめ予想されたメリットとデメリットについてはほぼ想定通りであった。授業内容を精選するなど工夫を進めていきたい。

○各学年・分掌から、今年度の活動についての報告